

角田中学校と北角田中学校の再編・統合に係る 建設用地の適地選定及び整備基本計画策定について

1. これまでの経緯

角田市学校の適正規模等に関する基本構想「第3次行動計画構想」に基づく角田中学校と北角田中学校の再編・統合については、令和6年3月18日に「角田市学校適正規模検討委員会（以下「検討委員会」という。）」を立ち上げ、全9回に亘る検討の結果、令和7年2月18日付けで教育委員会に対し、両校を統合すべきとの報告がなされました。それを受け、令和7年2月27日招集の教育委員会の会議において、両校の再編・統合の方針が確定しました。また、この両校の再編・統合の方針については、令和7年3月12日開催の角田市議会全員協議会において市議会へも説明しております。

2. 次の段階に向けて

教育委員会では、今年度以降、両校の再編・統合について更なる具体化を図るため、コンサル等を活用し、適地選定や整備基本計画の策定に取り組むこととしております。

適地選定では、両校の再編・統合後の新中学校（以下「新中学校」という。）の具体の建設用地を決定するほか、整備基本計画では、施設の規模・配置・整備コンセプト、整備スケジュール、概算事業費及びPFIの活用等を含む事業手法の検討等について明らかにすることとしております。

3. 建設用地の適地選定

新中学校の建設候補地については、検討委員会からの最終報告において、角田中学校、北角田中学校及び旧角田女子高等学校跡地の3箇所を候補地とし、立地、教育活動への影響、経済性、防災面等の観点から、総合的に判断するものとしており、教育委員会においても、当該報告を踏まえ、各候補地のメリット・デメリット等を分かり易く整理し、丁寧な説明を行いながら、適地選定を進めて参ります。

4. 整備基本計画の策定

新中学校の整備基本計画については、施設の規模・配置・整備コンセプト、整備スケジュール、概算事業費の積算等を明らかにすることで、基本構想の見直しや市立学校条例の一部改正の裏付けとするだけでなく、本市の財政運営に与える影響を最小化するため、全体事業費に係る一般財源所要額を積算すること、続く基本設計等を円滑に進めるため、新中学校の青写真を示すこと等を企図するものです。

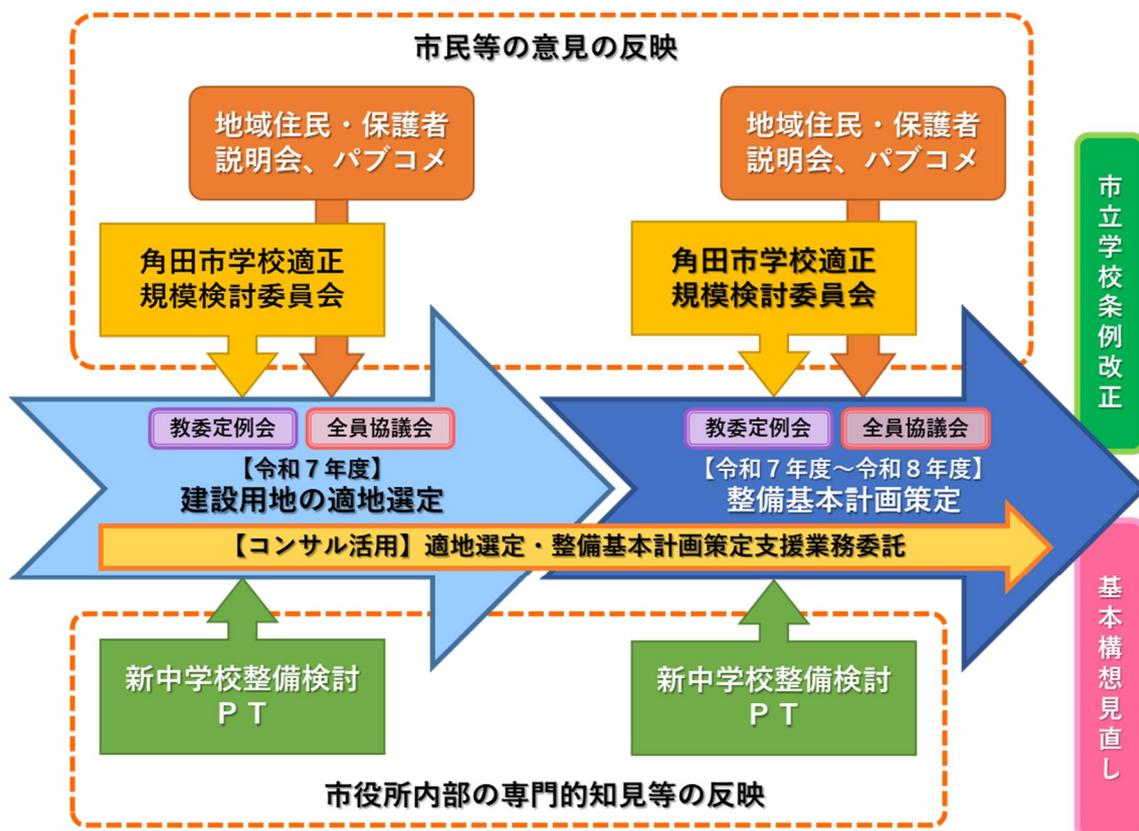
適地選定と同様、丁寧な説明を行いながら、整備基本計画の策定を進めて参ります。

5. 予算措置 (令和7年6月補正)

- (1) 新中学校建設用地適地選定及び基本計画策定支援業務委託料
 - ・ 事業費：23,948千円 (令和7年度～令和8年度)
 - 〔 令和7年度支出見込み：16,140千円 (歳出予算補正)
 令和8年度支出見込み：7,808千円 (債務負担行為補正) 〕
 - ・ 委託期間：令和7年7月～令和8年6月まで (予定)
- (2) 角田市学校適正規模検討委員会報酬
 - ・ 事業費：899千円 (委員19名×7回分 (予備1回分含む))
- (3) その他事務費等
 - ・ 事業費：334千円

6. 推進体制

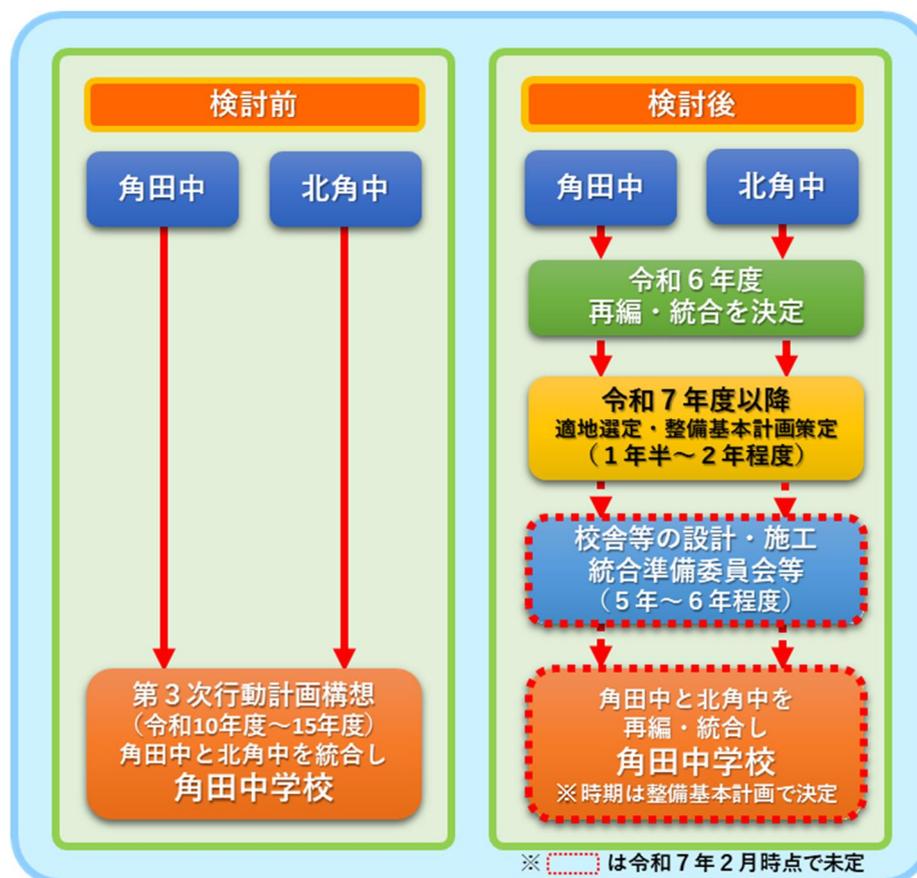
検討のプロセスに市民等の意見を反映させるため、地域代表者や保護者代表者等を構成員とする「角田市学校適正規模検討委員会」を再始動させるほか、コンサルへの発注仕様及びコンサルからの成果物等に対して、技術的・専門的な知見等を反映させるため、企画、防災、財政、建設及び都市計画などの各部署の課長級を構成員とする「新中学校整備検討プロジェクトチーム」を組織することを想定しております。



7. スケジュール

令和7年2月策定の『角田市学校の適正規模等に関する基本構想「第3次行動計画構想」に基づく学校再編・統合の具体化方針』においては、今後のスケジュールの見込みとして、適地選定・整備基本計画策定に1年半～2年程度を要し、続く校舎等の設計・施工等に5年～6年程度要するものとしておりますが、より精緻な整備スケジュールについては、今後策定する「基本計画」の中で具体化することとしております。

■角田中学校と北角田中学校の再編・統合



(令和7年2月策定『第3次行動計画構想』に基づく学校再編・統合の具体化方針』 p.18 より抜粋)